



伊礼一美 議員

保育所待機児解消施設増設も視野に実態把握に努める

保育行政

問 六十九人の保育所待機児解消をどのようにすすめるのか。

町長 現時点で待機児童がどうなっているか、実態を把握し、施設増設も視野に入れて検討していく。

問 保育所運営費の国庫負担率の推移は。

福祉課長 運営費の負担割合は、現在国が十分の五割、市町村が十分の二・五割となつている。昭和六〇年までは国が十分の八、県・市町村が十分の一ずつ負担

しております。昭和六一年より現在の負担割合になりました。そのため、町の超過負担金が年々増加しておりますので、支弁額の国庫負担金の増額を望みます。

問 一定基準保育所の認可外保育所への国の支援措置を働きかけるべきでは。

福祉課長 県内主幹課長会議で協議してみたい。

問 学校への台風対策

問 迷走十六号台風のとくに休校、出校の判断に混乱が生じたと聞いているが今後の対応は。

教育長 町の管理規則では危険が予測される場合は、校長の判断に委ねられるようになっていますが、教育委員会が主体的に指導すべきものと考えます。

問 すべての子どもに丁寧な学力を保障する三〇人学級の実現が急がれています。当面、小学一年だけでの費用増はいくらか。

教育長 本町の一年に導入したとき四学級増になりまして、約一、一六万円

のぼり、全額町負担となります。

問 「広報にしほら」に図書館建設だより欄を設けて、建設の取り組みを町民に知らすことが重要だと考えるか。

生涯学習課長 関係課と調整して検討したい。

問 新図書館建設にむけて一冊献本運動を呼びかけては。

生涯学習課長 地域資料や行政資料など購入が難しい資料の提供は喜んで引き受けたいと考えています。

問 地方交付税削減の動きがあるが、町財政への影響は。

町長 国では構造改革、地方は財源の削減という痛みをおつけようとして小泉政治は、不透明で評価はできない。

問 小泉内閣に対する評価は。

町長 国では構造改革、地方は財源の削減という痛みをおつけようとして小泉政治は、不透明で評価はできない。

問 宇津花波、金秀急坂の滑り止め設置についてはいつ頃の予定になるのか。

土木課長 滑り止め工事でございますが六月定例議会です。七月、八月頃着工する予定で進めてございました。けれども諸々の事情があつて現在遅れておりますが、今着工できるように準備しておりますので早急にすぐ着工していきたくと思つております。

問 宇兼久二〇三番地の二与那朝さん宅前の排水路の整備についてはいつ頃になるのか。

土木課長 宇美地区の側溝の件でございますが、富議員もご存じのとおり、南地区の区画整理事業も今後着工できないような状況でありますので、その辺については町の道路網計画、白河一帯の道路網計画、そして排水計画等を今検討しているところでございます。

問 宇津花波、金秀急坂の滑り止め設置についてはいつ頃の予定になるのか。

土木課長 滑り止め工事でございますが六月定例議会です。七月、八月頃着工する予定で進めてございました。けれども諸々の事情があつて現在遅れておりますが、今着工できるように準備しておりますので早急にすぐ着工していきたくと思つております。



仲松 勤 議員

「職員採用改革を!!」「幼稚園が5時まで!!」安全で住みよい団地環境づくりを!!

問

役場職員採用において即戦力となる人材を採用し地域活性化、民間経営やまちづくり感覚等の専門知識を活用する一方、生産性向上への職員の意識改革も図るためにも現採用年齢の拡大を図るべきと対応し、透明性を高めさらに信用性を図るべく、試験問題の公開、試験結果の開示をすべきと思うがどうだろうか。

総務課主幹 地方分権の推進や住民ニーズの変化等に即応した政策形成能力や、創造的能力を有する意欲のある人材をできるだけ確保

する事は望ましい事です。採用年齢の拡大については多様な行政ニーズに対応し得る新陳代謝や年齢構成バランス等の課題もありません。試験問題の公開についても合意採用試験委員会の中で検討します。又試験結果については本人の希望があれば教えています。

問 幼稚園の延長保育推進について、議会では何度となく提案致しました。さらに父母からの声も多かったですと思います。小学校入学前の教育の充実、少子化や女性の社会進出等で、多様化する家庭の要望にこたえて、延長保育(預かり保育)の早期実施を改めて強く求めたい。

教育長 平成十四年度から実施に向け検討中です。県営内閣団地山手の擁壁崩壊についてその後対応策、又坂田高層住宅団地の出入口の交差点の改良工事問題についても何度となく住民から訴えがあったと思うが、早急な改善が必要であります。現状はどうなっているか。

町長 災害による擁壁崩壊は県道開通に伴う発生を指摘されており、県に対し

「地滑り地域」指定の要請をしなから対策を検討しております。又、坂田高層住宅人口の交差点については、県も町を交通安全上、改良は必要と共通認識しております。応急さらば格工事を検討しています。

問 小波津川に対する町民の期待は大きく「水害の無い安全な川づくり」はもとより散策路つくるなどして親水性のある川、親しみやすく自然との触れ合いのある川が望まれます。これからの西原の発展を支える多自然型河川工法である。現計画案によると二十五年度の工期との事。その間においての水害のおそれもあり、一日も早い完成を望みたいか。

町長 河川の整備については地元条件整備等を整えて県管理河川への昇格(指定)を早期実現を進めております。優先すべきは災害対策であり、調水池の設置や、下流等からの事業順位計画を要請しており、早期着工、完成をめざします。

問 浦添・西原線の必要性的には、通過交通の役割を担うのが主たる役目だと考えております。この事業が推進できなくなりますと、マリントラックプロジェクトの問題、両地区の区画整理の問題、多くの問題を抱えております。その地域は地形的に高架でなければならぬと思っております。土地利便、用途地域の変更についてはいきなり路線が決定したからということで、市街化区域に編入あるいはその他の手続きが取れるかについては、個別のほうの規制も基準もありますし、それと合わせてその時点で人口の増加、さらにその一帯の地域開発の動向等をみなごら対応する以外にはないかと考えております。

問 農畜産物の輸入自由化や農業従事者の高齢化等で農業を営む従事者が減少し、遊休地も増えている。町を取り巻く農業環境は厳しいものがある。農業環境を立て直すため、町独自の項目を選定し、産地化形成に向けての農業従事者を育成するため、農業技術者の研修等、政策的に支援すべきと思つた。

町長 対策基金の仮称については災害には多種多様な災害があるので、十分検討をしていきたくと思つております。

問 浦添・西原線の必要性的には、通過交通の役割を担うのが主たる役目だと考えております。この事業が推進できなくなりますと、マリントラックプロジェクトの問題、両地区の区画整理の問題、多くの問題を抱えております。その地域は地形的に高架でなければならぬと思っております。土地利便、用途地域の変更についてはいきなり路線が決定したからということで、市街化区域に編入あるいはその他の手続きが取れるかについては、個別のほうの規制も基準もありますし、それと合わせてその時点で人口の増加、さらにその一帯の地域開発の動向等をみなごら対応する以外にはないかと考えております。

問 農畜産物の輸入自由化や農業従事者の高齢化等で農業を営む従事者が減少し、遊休地も増えている。町を取り巻く農業環境は厳しいものがある。農業環境を立て直すため、町独自の項目を選定し、産地化形成に向けての農業従事者を育成するため、農業技術者の研修等、政策的に支援すべきと思つた。

町長 対策基金の仮称については災害には多種多様な災害があるので、十分検討をしていきたくと思つております。

産業課長 町は農家の労働生産性及び土地生産性を高め、農業経営の向上を図るために、安全地区、幸地地区の土地基盤整備事業を計画をしてい。農業育成のために、農業者組織、サトウキビ、野菜、菊、畜産へ補助金を交付して支援しています。今後、農家の要望を聞き、J・Aサンライズ、中部農業改良復旧センターと連携し、農家の支援を早急に検討したい。

問 浦添・西原線の必要性的には、通過交通の役割を担うのが主たる役目だと考えております。この事業が推進できなくなりますと、マリントラックプロジェクトの問題、両地区の区画整理の問題、多くの問題を抱えております。その地域は地形的に高架でなければならぬと思っております。土地利便、用途地域の変更についてはいきなり路線が決定したからということで、市街化区域に編入あるいはその他の手続きが取れるかについては、個別のほうの規制も基準もありますし、それと合わせてその時点で人口の増加、さらにその一帯の地域開発の動向等をみなごら対応する以外にはないかと考えております。